

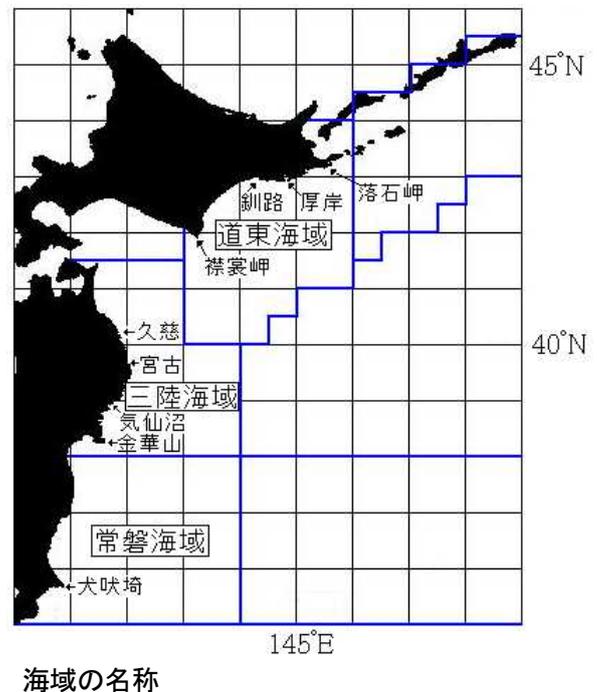
## 2023年度 第3回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2023年10月上旬～11月中旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月上旬は断続的に来遊量がある。
- ・三陸海域では、10月上旬は断続的に来遊量があるが、来遊量は極めて少なく、11月上旬から増加する。
- ・常磐海域では、11月中旬になると断続的に来遊があるが、来遊量は少ない。



### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、緑川  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

# 2023年度 第3回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2023年10月上旬から11月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

9月中旬は、前年よりもやや西側に漁場が形成されたものの、道東海域よりも沖合の公海にしか魚群が分布していなかった。9月下旬になり、釧路南30海里付近で一時的に漁場が形成された。これらのことから、10月上旬は断続的な来遊があり、10月中旬～11月中旬の来遊量は低位水準となる。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下する。

#### (2) 漁場

10月上旬の主漁場は道東海域より東側の公海となり、道東海域では落石～釧路沖に散発的に漁場が形成される。10月中旬～10月下旬は落石～釧路沖、11月上旬～中旬は落石～襟裳岬沖に漁場が形成されるが、主漁場は沿岸から離れた沖合となる。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～10月下旬は断続的な来遊があるが、来遊量は極めて少ない。11月上旬～中旬は低位水準で増加する。

#### (2) 漁場

10月上旬～10月下旬は、漁場は形成されない。11月上旬～中旬は、三陸北部海域に漁場が形成されるが、主漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～11月上旬は、来遊は無い。11月中旬は断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。

#### (2) 漁場

10月上旬～11月上旬は、漁場は形成されない。11月中旬は、常磐北部に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
道東海域	来遊量	— →	————→	————→	————→	————→
	動向	断続的	低位水準	低位水準	低位水準	低位水準
	漁 場	落石～釧路沖	落石～釧路沖	落石～釧路沖	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖
三陸海域	来遊量	— →	— →	— →	————→	————→
	動向	断続的	断続的	断続的	低位増加	低位増加
	漁 場				三陸北部	三陸北部
常磐海域	来遊量					— →
	動向					断続的
	漁 場					常磐北部

### 3. 漁況の経過概要（9月中旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で62トン程度漁獲した船もあったが、漁獲量が少ない船が多かった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は9月上旬よりやや増加し、前年を上回った。これらのことから、魚群は道東海域よりも沖合に分布しており、分布量は前年よりも多いものの少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海であるが、9月上旬よりも西側の落石東北東440～600海里と落石東520海里であった。漁場は遠く、小型船の多くは出漁できなかった。

落石東北東440～450海里の漁場水温18～19℃では、17日夜以降、大型船数隻～15隻程度操業し、最高62トン、平均10.4トン漁獲した。

落石東北東460～600海里の漁場水温15～18℃では、大型船が5～30隻程度と小型船が数隻操業し、最高39トン、平均10.6トン漁獲した。

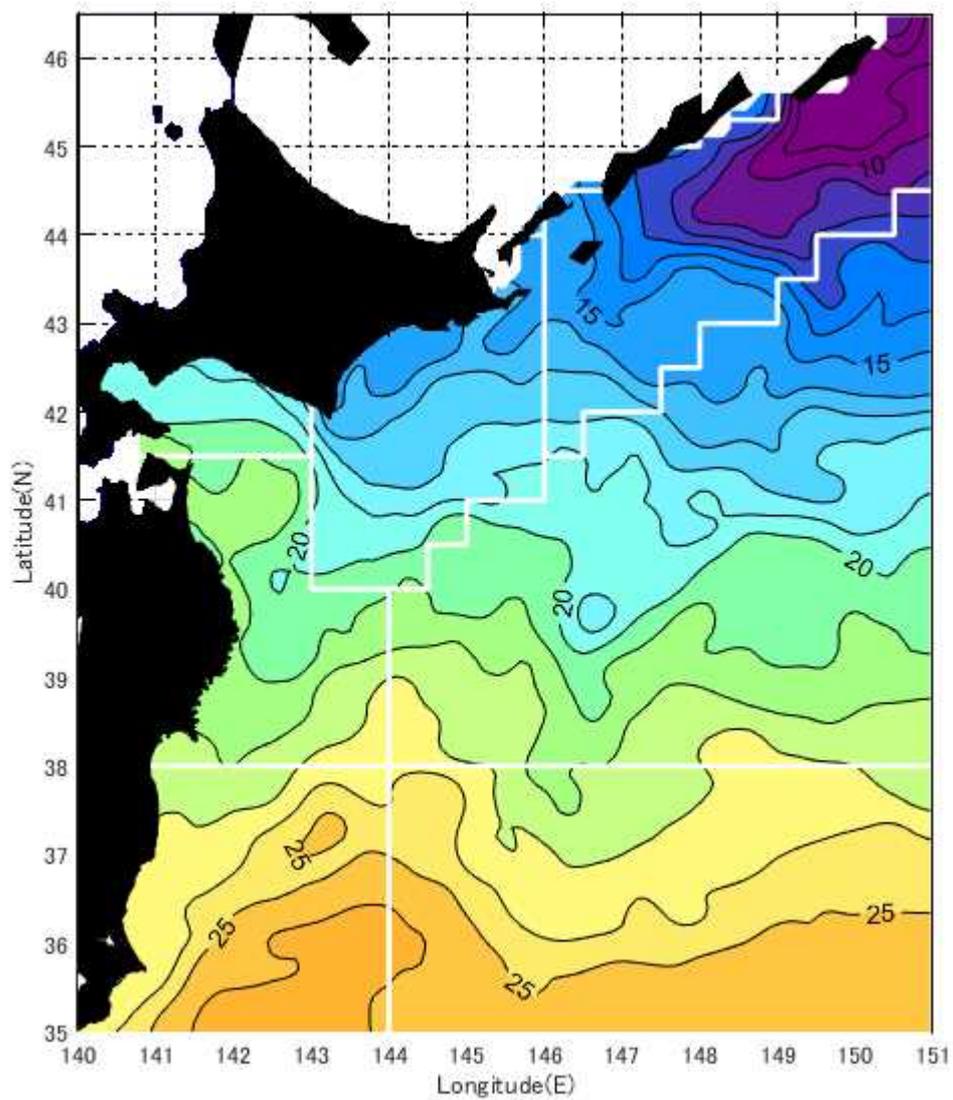
落石東520海里付近の漁場水温20～21℃では、13日夜と16日夜に大型船1～20隻程度操業し、最高9トン、平均4.1トン漁獲した。

##### (3) 魚体

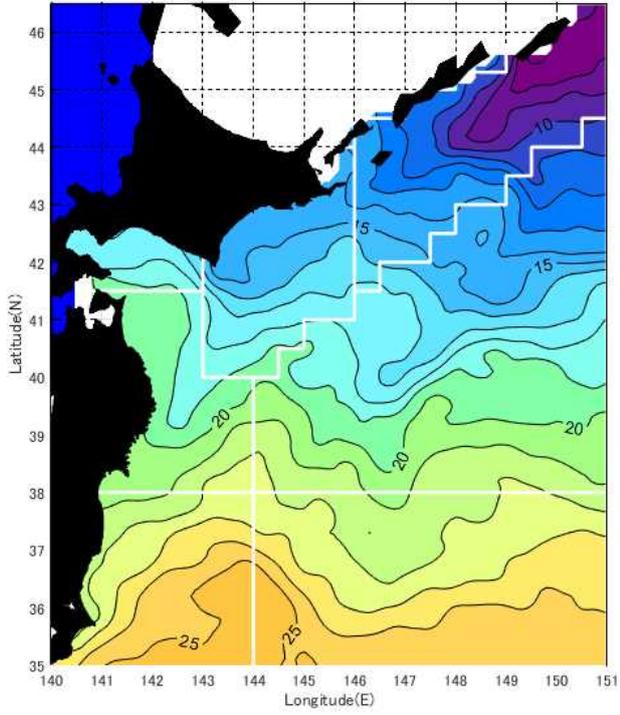
道東海域よりも東側の、落石東北東440～600海里と落石東520海里では、体長24～30cmモードであった。体重は60～120g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

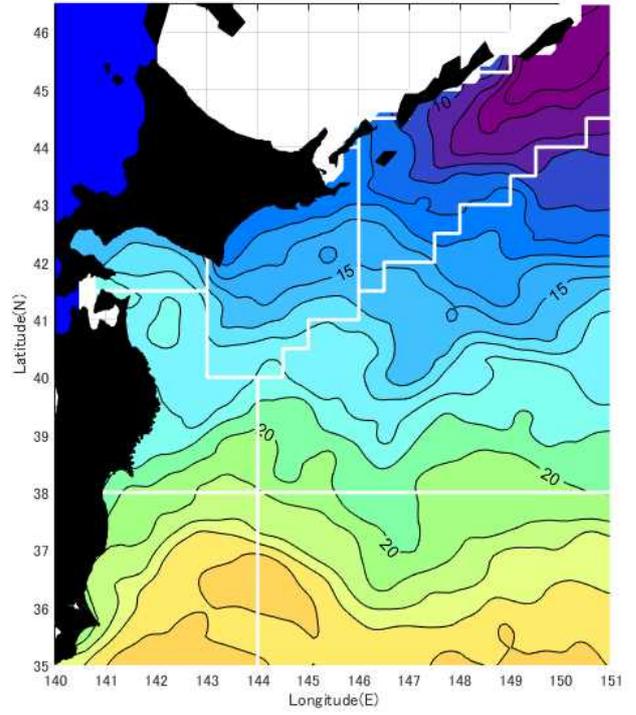
10月上旬予測表面水温分布図



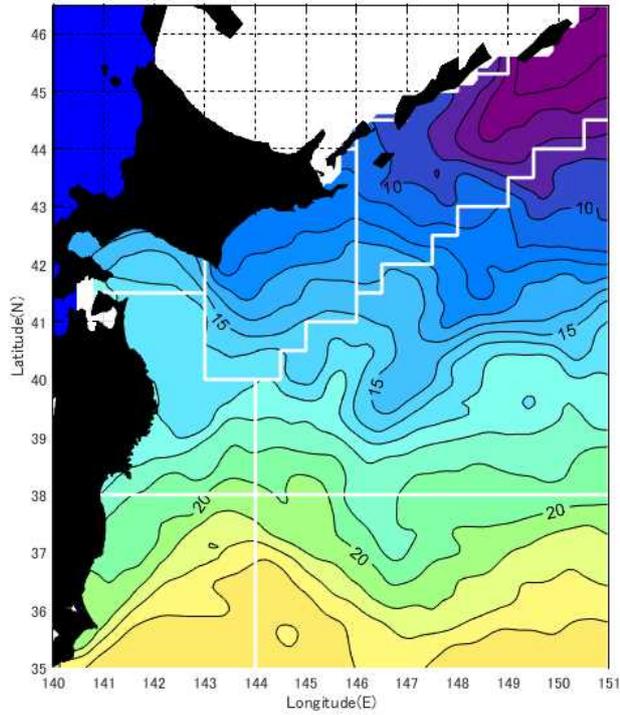
10月中旬予測表面水温分布図



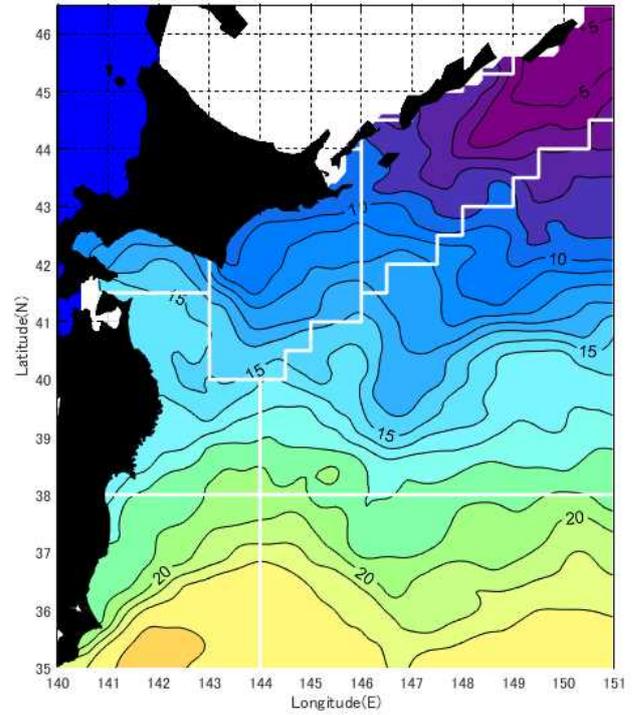
10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---